

令和4年3月31日

(あて先) 熊本市長

団体名 子育てネットワーク「縁側 moyai」

代表者 職名 代表 氏名 小野 由里



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和4年2月25日付け指令(地活)第50号により、熊本市市民公益活

動支援助成金の交付決定※を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業
子どもに伝えたい熊本の農業と食プロジェクト

2 助成事業の実施期間

令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日

3 助成事業の内容

子育て世帯を対象に、屋外での農業体験、収穫体験、子どもと一緒に楽しむ手しごとなどの手作り加工体験、親子交流イベントを開催した。また、協力農家さんのもと、自然栽培によって作られた安心・安全なさつま芋や米を会員向けに販売した。

4 事業の成果

農業体験やそれに関する食のイベントを親子で体感する場を提供することで、子どもたちの豊かな感性を育む食育や、子育て世帯同士・子育て世帯と農業生産者との交流機会をもつことができた。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書(様式第16号)
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業収支決算書

◆収入決算

項 目	金 額	内 訳
会費	58,200 円	参加費収入合計
当該事業による収益	55,500 円	栽培した農産物（米、さつまいも）、しめ縄の会員向け販売収益
当該事業に対する寄附・協賛金	0 円	
その他の自己資金	0 円	
当該事業に対する助成金額	221,478 円	
その他の補助金、助成金等【D】	0 円	
合 計	335,178 円	

◆支出決算（事業別）

事業名 支出費目	子どもに伝えたい熊本の 農業と食プロジェクト	合計
人件費	30,000 円	30,000 円
報償費	92,500 円	92,500 円
旅費	0 円	0 円
人件費等合計【A】	122,500 円	122,500 円
役務費	2,500 円	2,500 円
使用料・賃借料	120,000 円	120,000 円
事務・消耗品費	68,178 円	68,178 円
委託費	22,000 円	22,000 円
合計	335,178 円	335,178 円

助成申請上限額（助成種別： ステップアップ 助成）

〔 事業費 335,178 円 - 控除額【E】 0 〕 × 2/3 =223,452 円

※控除額…超過人件費（人件費等の合計が事業費の 1/2 を超えた部分）とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	122,500 円	➤	超過人件費【C】※	0
事業費の 1/2【B】	167,589 円		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】…【C】	-45,089 円		控除額【E】	0

※マイナスの場合は0円

◆支出内訳（事業別）

事業名〔 くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 子どもに伝えたい熊本の農業と食プロジェクト 〕

人件費	スタッフ人件費 @2,000 円×9 名、@4,000 円×3 名
報償費	・「みんなの畑」指導料 @25,000 円×1 名、@15,000 円×1 名 ・講師料（食と農を楽しむイベント開催時に招聘した講師料 @2,000 円×1 名、@3,000 円×4 名、@4,000 円×1 名、@4,500 円×1 名、@5,000 円×3 名） ・講師料@10,000 円×1 名、@5,000 円×1 名（土づくり菌ちゃん 農法講演会 講演料として）
旅費	
役務費	イベント保険料 2,500 円（令和 3 年 6 月～令和 4 年 3 月分）
使用料・賃借料	田圃（合志市）年間管理料 60,000 円 みんなの畑（熊本市南区近見）賃借料（@5,000 円/月×12 か月）
事務・消耗品費	・肥料、ぼかし、土、種苗、農耕具（園芸バサミ等） - その他農作業道具代一式 25,289 円 ・養生テープ、マジック、ビニール袋、コピー用紙 - その他事務用品費 9,098 円 ・しめ縄作りワークショップにかかる材料費 6,940 円 ・子ども用軍手 1,100 円 ・防護メガネ 1,100 円 ・インクカードリッジ 2 本 10,001 円 ・収穫用コンテナ 3,612 円 ・折り畳みテーブル 1 台 11,038 円
委託費	みんなの畑（熊本市南区近見）樹木抜根費用 22,000 円

事業報告書

実施年度	令和3 年度
事業名	くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 子どもに伝えたい熊本の農業と食プロジェクト
事業期間	令和3年 4 月 1 日 ～ 令和4 年 3 月 31 日
事業の目的	当団体は、地元出身在住ママや県外からの転勤者ママによる、ゆるやかなネットワーク団体である。子育て世帯は社会で孤立しがち傾向にあり、特に熊本に知り合いや情報の少ない県外出身ママにとって、熊本の自然や食、文化に親子でふれながら、豊かな子育て環境を享受する機会づくりは大きな課題である。また、子育てママ同士による交流の機会づくりや、地域や社会で広く支えていく仕組みも課題である。 そこで、熊本市や郊外の農家の協力を得ながら、一年を通して親子向けの農業体験、季節の加工体験、農場での交流イベントを開催することで、スーパーなどで購入するだけでは伝わりにくい、熊本の豊かな食と農、季節行事に合わせた食文化、食べ物と身体のつながりや生産農家の様子などを知る食育体験と、子育てママの自然な交流とネットワーク作りの機会とする。
具体的な事業内容	熊本市内およびその近郊に在住する子育て世帯を対象に、熊本の農業と食を楽しむプロジェクトと題し、主に屋外での農業体験、収穫体験、子どもと一緒に楽しむ手しごとなどの手作り加工体験、親子交流イベントを開催した。また、協力農家さんのご協力をいただき、自然栽培によって作られた安心・安全なさつま芋や米を会員向けに販売した。 【活動一覧】 令和3年5月23日 サツマイモの苗植え moyai 親子12組のべ46名 令和3年5月23日 梅ちぎり moyai 親子10組のべ37名 令和3年5月25日 手しごと moyai (梅干し、梅シロップ、紫蘇ジュースづくり) ※オンライン開催 親子10組 令和3年5月30日 菌ちゃん農法によるみんなの畑開墾作業 親子7組 令和3年6月20日 じゅったんは&田植え moyai 10組 (大人12名、子ども20名) 令和3年7月1日 みんなの畑・夏 大人3名、子ども1名 令和3年7月25日 水遊びをしながら「水前寺のり」を知ろう moyai 9組 (大人、子ども合わせて31名) 令和3年7月29日 moyai 遠足～ブルーベリー狩り moyai 9組 (大人9名、子ども20名) 令和3年9月5日 菌ちゃん農法によるみんなの畑開墾作業 大人5名、子ども6名 令和3年9月6日 手打ちうどん作り moyai ※オンライン開催 親子38組 令和3年10月17日 稲刈り&掛干し moyai 親子11組 (大人14名、子ども20名) 令和3年11月14日 芋ほり moyai 10組 (大人15名、子ども20名) 令和3年12月14日 いきなり団子作り moyai 8組 (大人8名、子ども4名) 令和3年12月20日 自然栽培「moyai 米」の天日干しの藁で作るしめ縄 moyai 13組 (大人13名、子ども19名) 令和4年2月15日 味噌づくり moyai 親子9組のべ11名 令和4年2月27日 味噌づくり moyai 親子10組のべ27名 令和4年2月26日 菌ちゃん農法&子どもの食育講演会 moyai ※オンライン開催、親子

	22組 令和4年3月2日 ゆずジャム作り moyai ※オンライン開催 親子20組 令和4年3月20日 高菜折り moyai (大人14名、子ども17名)
実施場所	活動拠点「みんなの縁側」(熊本市南区近見)ほか熊本市近郊
協力団体	熊本市男女共同参画センター はあもにい、熊本農業法人協会維新会、HaruLab. (ハルラボ)、一般財団法人くまもと未来創造基金
事業の効果 ・公益性	当事業を通して、様々な縁あって日本有数の農業都市である熊本市に暮らす私たち子育て世帯が、日々にする食べものは生産者の方が土づくりから愛情を注いで農作物を作ってくれたものということを改めて感じる事ができた。開墾、種まき、苗植えから収穫にいたるまでの農業の一連の流れを知り、それに伴った四季折々の料理や、収穫した後の藁から作るしめ縄作りなどを体験することで、熊本の豊かな農業や食文化に触れる事ができた。また農業や食文化体験を通して、農産物が土から生まれ私たちの食卓に届くまで、農家さんや生産現場に思いを馳せ、安心安全な食と農業への意識を向けるきっかけを与えた。またそのことが子どもたちへの食育にもつながった。 縁側 moyai も「みんなの畑」で取り組んでいる農薬・化学肥料によらない「菌ちゃん農法」による自然栽培について、実践している方々から直接お話を伺う講演会を企画し、会員の興味関心や理解度を高め、今後「みんなの畑」でのさらなる取り組みにもつなげることができそうである。 また、四季折々の熊本はじめ日本の郷土食や、季節ごとの旬の作物を使った料理を紹介し、一緒に作る取り組みを行うなかで、「食べたことはあるが、作るのは初めて」という参加者も多くいた。こうした機会を親子で体感する場を提供することで、子どもたちの豊かな感性を育む食育と、子育て世帯同士や、子育て世帯と生産者との交流の機会づくりにつなげることもできた。
次年度以降の事業展望	コロナ禍で人数を制限しながらの実施とはなったが、屋外での活動がメインであったので比較的多くの親子に参加の機会を提供することができた。今後は活動できる幅が今年度よりも広がる予想されるので、子育てネットワーク「縁側 moyai」の認知度をさらに高め、熊本で孤独に子育てをしている世帯へ向けて、子育て世帯がつながる場の提供やネットワークづくりと、イベントに参加した子育て世帯の満足度を向上させたい。
事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	熊本市は市街地や駅周辺の再開発により、今後さらに市外だけでなく県外からの移住者の増加が見込まれる。当事業を通して主に子育て世帯を中心に、安心して子育てできる熊本市の豊かな子育て環境、食や農を発信することができた。また、熊本の未来を担う子どもたちに熊本の食の豊かさ、安全性を知ってもらうことができた。今後も、都会の利便性と自然とが共存する魅力あふれる街として、日本国内、さらには世界へ向けて熊本ブランドを発信していきたい。また、孤立しがちな子育て世帯に向けて、熊本市には縁側 moyai という支えあいの場があるということを発信し、熊本市が日本一子育てしやすい街として認知されるよう、今後も活動を継続していく。